



佐賀県立男女共同参画センター
佐賀県立生涯学習センター

0952-26-0011

[交通アクセス](#)
[お問い合わせ](#)
[男女共同参画センター](#)
[生涯学習センター](#)
[DV総合対策センター](#)
[相談する](#)
[図書を借りる](#)
[視聴覚機材や
PCを借りる](#)
[ホールや研修室を
借りる](#)
[トップページ](#) > [生涯学習センター](#) > [講座レポート](#) > [28年度](#) > [県民カレッジの集い](#) > 平成28年度「県民カレッジの集い」を開催しました

平成28年度「県民カレッジの集い」を開催しました

佐賀県立生涯学習センター（アバンセ）では、県民のみなさまに継続的に生涯学習に取り組んでいただきたいとの願いから、年に1度「県民カレッジの集い」として県民カレッジ入学者および新規入学者を対象に講演会を開催しています。

10月2日（日）アバンセホールに松浦弥太郎さん（「くらしのきほん」編集長・エッセイスト）をお迎えし、～「暮らしの手帖」で学んだ大切なこと～と題してご講演いただきました。

■ 演題：「暮らしの手帖」で学んだ大切なこと ■ 講師：松浦弥太郎氏

日時：平成28年10月2日（日）14時～16時 会場：アバンセホールおよび第3研修室（モニター視聴）



日本におけるセレクト書店の先駆けとして東京で『COWBOOKS』を立ち上げ、多方面のメディアにてエッセイストとして活躍されていた松浦弥太郎さん（以下松浦さん）。松浦さんは、ある出会いにより平成18年から約9年間、雑誌『暮らしの手帖』の編集長を務めることに。『暮らしの手帖』創業者はNHK朝ドラのモチーフにもなられた大橋鎮子さん（以下鎮子さん）です。鎮子さんが93歳でお亡くなりになる平成25年までの約7年間、共に仕事をされた松浦さん。「命をかけて『暮らしの手帖』の仕事をする」と誓った編集長時代を振り返りながら、『暮らしの手帖』そして鎮子さんから学んだ大切なことを一つひとついぬいにお話いただきました。



出会い

「今日は佐賀のみなさんと分かち合いたいものを選んでお話しします。鎮子さんにもお願いして一緒に来てもらいました」と挨拶されると、会場がわっと湧きました。鎮子さんへの尊敬と感謝の思いを込めながら、講演会が始まりました。平成17年、東京の文学館で開催された「花森安治と暮らしの手帖展」でのトークショーに登壇した松浦さん。一読者の視点で『暮らしの手帖』をテストするというやや辛口トークを行った会場には、創業者である鎮子さんの姿が。予想に反して鎮子さんは「とても面白い」とニコニコ顔。その出会いが編集長への依頼のきっかけになったそうです。その申し出を何度断ってもあきらめない鎮子さんに、そこまで自分を認めてくれ、信用してもらえたことがとても嬉しかったと松浦さんは当時のことを振り返られました。鎮子さんとは毎日、雑誌作りや仕事のこと、日々の学びとはどのようなことなのかをたくさん語り合われたそうです。

学び

鎮子さんとのエピソードの中で「頭を使うこと」と「心を使うこと」の違いに気づかされた時は、自分の人生が変わるくらいショックを受けたと語られました。常々、何か困ったことがあったら手紙を書きなさいと言われていたそうですが、松浦さんの書く手紙にはいつもダメだしが…。理由がわからなかったところ、鎮子さんから「あなたの文章は上手すぎる」と一言。要するに「頭を使ってしたことは何も伝わらない」「下手でも、字が間違っていない関係ない」「とにかく心を使うことが大切」「心を使う自分になりなさい」と教えられたそうです。そして、一番の学びは、鎮子さんの「仕事とは世の中の人を助けること」という教えにあったと語られました。いつも世の中の人々が今何に困っているかを頭がちぎれるほど考え、その事を世の中より少しだけ先に気づいて仕事にすることが、人助けにつながると教えられたそうです。

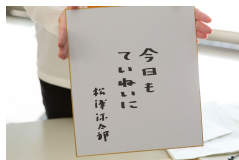
感動

「情報より大切なのは感動」「感動は人の心に積み重なり、積み重なった感動は信用となり、人と人の深いつながりとなる」という鎮子さんの教えを身を持って学ばれた松浦さん。語られる言葉の一つひとつに小さな感動が包まれていて、会場全体へじんわり染み渡っていくようでした。心の残る言葉をメモに残されていた参加者の姿がとても印象的でした。これからもさまざまな場面で、松浦さんは私達に日々の暮らしや仕事の中の気づきと学びを『感動』というカタチに変えて伝え続けてくださることでしょう。

講演に引き続き『松浦弥太郎氏×アバンセ事業統括(上野景三)』の対談を行いました



対談では、参加者のみなさんから事前にお寄せいただいた質問を(1)持ち味(2)信条(3)挑戦の3つに集約しお答えいただきました！講演会の最後にサイン色紙を抽選で5名の方にサプライズプレゼント



参加者の声 (アンケートより抜粋)

- ・「仕事とは人を助けること」という考え方が新鮮でした。そのような気持ちで仕事をしていきたいと思った。
- ・人が生きていくうえで大切なことを、鎮子さんの言葉、松浦さんの気づきから学ばせていただいた。
- ・「情報も大事だが心を伝えよう」という言葉に感動した。
- ・年に6回の手紙を書くつもりで『暮らしの手帖』を作ってきたという言葉がとても謙虚で心に伝わった。
- ・今日、これから未来へ自分が何ができるか何をしたいのかいろいろ気づきをいただいた。

あなたも『県民カレッジ夢バレットさが』で生涯学習を始めませんか！

詳しくは [コチラ](#)  [をご覧ください。](#)

[戻る](#)

[アバンセとは](#) | [リンク集](#) | [公益財団法人 佐賀県女性と生涯学習財団](#)

アバンセ 佐賀県立男女共同参画センター
佐賀県立生涯学習センター

TEL : 0952-26-0011
FAX : 0952-25-5591

開館時間

火曜～土曜日：8時30分～22時00分
日曜・祝日：8時30分～17時00分
(ホールは22時00分まで)

休館日

館内フロアマップ [>>](#)

施設利用の手続き [>>](#)

利用料金表 [>>](#)

トップへ
もどる

〒840-0815

佐賀県佐賀市天神三丁目2-11(どんだんどの森内)


毎週月曜日(祝日も含む)

12月29日から翌年1月3日まで

施設利用Q&A



 交通アクセス

 お問い合わせ



アバンセレストラン
「あいちちゃん農園」
お問い合わせは
080-4312-4831